



智者山神社
三十三観音巡り



川根本町教育委員会

智者山神社三十三観音像入口

智者山(標高1291m)の中腹に鎮座する智者山神社は、創建年代こそ定かではないが、嘉吉二年(1442年)の棟札も保存され、室町時代前期に建立されたものと推定される。古くは「三所権現」後に「智者山権現」と称せられ、明治三年(1870年)四月に「智者山神社」と改称された。大山津見神・猿田毘古神・天之水分神の三神、そしてすぐ脇の観音堂には千手観音が祀られ、毎年春と秋の彼岸の中日に例祭が催されている。昔から雨乞や授乳の神として近郷の信仰を集め、最近は交通安全祈願をはじめ「智者」に因み、入試合格の祈願も少なくない。現時点からの参道(約7km)には、昭和九年(1934年)三月、信者から寄進された三十三体の観音像が祀られ、信仰とともに智者山参拝者の道しるべともなっている。

昭和六十一年七月

川根本町観光協会

智者山神社参道入口の看板より引用



智者山神社 三十三観音巡り

▲智者山

●智者山神社



小長井河内川



沢間

沢間駅

桑野山

桑野山トンネル

筒沢川

77

前山

両国吊橋

川根両国駅

寺間

● 智者の丘公園

千頭東

大井川

平栗

川根本町役場
総合支社

千頭駅

音戯の郷

小長井

● 川根本町
文化会館

362

● 小長谷城跡

智者山神社参道の三十三観音像

智者山神社への参道には、昭和九年に千手観音を信仰する地元の篤志家（女性を中心とした御詠歌を唱える信者たち）が寄進した三十三観音像（石像）が第1番から第33番まで、寄進者の名を記した台座の上に「道しるべ」のように置かれています。

この33体の観音像は、西国三十三所巡礼に因んだもので、観音像の脇には、番号とともに各番所で詠まれる御詠歌が書き込まれた幟旗が立てられています。この33所とは、観音菩薩が人々を救う際に33のお姿に変化するとの教えに基づくものであり、観音菩薩の功德にあやかるとともに、また、33所の観音菩薩巡礼により現世で犯した罪が消滅し極楽往生できるとの信仰心によるものであると言われています。

日々農作業と家事労働に勤しんでいた女性たちには、西国三十三所巡礼の資金も時間もないことから、御詠歌ゆかりの寺々であるこれら33所の観音菩薩像を智者山の観音堂参拝の折にお参りすることにしたものと思われまます。



智者山神社参道入り口の観音像

1

那智山 青岸渡寺
(通称:那智山寺)
如意輪観音



補陀洛や

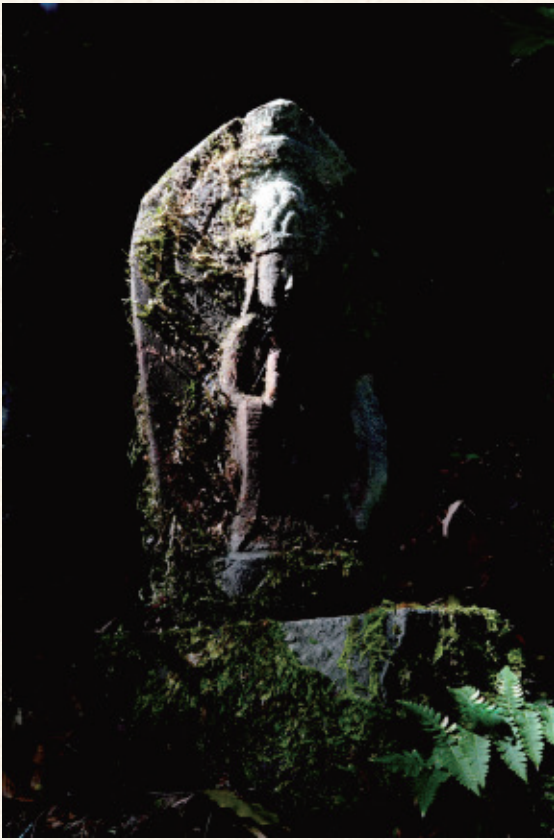
岸うつ波は三熊野の

那智のお山にひびく滝津瀬

ふだらくや
きしうつなみはみくまのの
なちのおやまにひびくたぎつせ

2

紀三井山金剛宝寺（通称・紀三井寺）
十二面観音



ふるさとを

はるばるここに 紀三井寺
花の都も 近くなるらん

ふるさとを
はるばるここに きみいでら
はなのみやこも ちかくなるらん

3

風猛山 粉河寺
千手観音



父母の

恵みも深き 粉河寺

ほとけの誓いたのもしの身や

ちちははの
めぐみもふかきこかわでら
ほとけのちかいたのもしのみや

4

檜尾山施福寺（通称：檜尾寺）
千手観音



深山路や

檜原松原 わけゆけば

檜の尾寺に 駒ぞいさめる

みやまじや

ひばらまつばら わけゆけば

まきのおでらに こまぞいさめる

5

紫雲山 藤井寺 (通称:葛井寺)
千手観音



参るより

頼みをかくる 葛井寺
花のうてなに 紫の雲

まいるより
たのみをかくる ふじいでら
はなのうてなに むらさきのくも

6

壺阪山 南法華寺
（通称：壺阪寺）
千手観音



岩をたて
水をたたえて 壺阪の
庭のいさごも 浄土なるらん

いわをたて
みずをたたえて つばさかの
にわのいさごも じょうどなるらん

7

東光山岡寺
如意輪観音



けさ見れば

つゆ岡寺の庭の苔

さながら瑠璃の光なりけり

けさみれば

つゆおかでらのにわのこけ

さながらるりのひかりなりけり

8

豊山長谷寺（通称・初瀬寺）
十二面観音



いくたびも

参る心ははつせ寺

山もちかいも 深き谷川

いくたびも

まいるころははつせでら

やまもちかいも ふかきたにがわ

9

興福寺（通称：南円堂）
不空絹索観音



春の日は

南円堂にかがやきて

三笠の山に晴るるうす雲

はるのひは

なんえんどうにかがやきて

みかさのやまにはるるうすぐも

10

明星山 三室戸寺（通称：御室戸寺）
千手観音



夜もすがら

月を三室戸 わけゆけば

宇治の川瀬に立つは白波

よもすがら
つきをみむろど わけゆけば
うじのかわせに たつはしらなみ

11

深雪山 上醍醐寺
准胝観音



逆縁も

洩さで救う願なれば

准胝堂は頼もしきかな

ぎやくえんも

もさらですくうがんなれば

じゅんていどうはたのもしきかな

12

岩間山 正法寺（通称：岩間寺）
千手観音



水上は

いずくなるらん 岩間寺

岸打つ波は 松風の音

みなかみは
いずくなるらん いわまでら
きしうつなみは まつかぜのおと

13

石光山 石山寺
如意輪観音



後の世を

願うところは かるくとも

ほとけの誓い おもき石山

のちのよを

ねがうところは かるくとも

ほとけのちかい おもきいしやま

14

長等山三井寺
如意輪観音



いで入るや

波間の月を三井寺の

鐘のひびきにあくる湖

いでいるや

なみまのつきをみいでらの

かねのひびきにあくるみずうみ

15

新那智山 観音寺 (通称：今熊野観音寺)
十二面観音



昔より

立つとも知らぬ 今熊野

仏の誓い あらたなりけり

むかしより

たつともしらぬ いまくまの

ほとけのちかい あらたなりけり

16

音羽山 清水寺
千手観音



松風の

音羽の滝の清水を

むすぶ心は涼しがるらん

まつかぜの

おとわのたぎのきよみずを

むすぶこころはずしがるらん

17

補陀洛山 六波羅蜜寺
十二面観音



重くとも

五つの罪はよもあらじ

六波羅堂へ参る身なれば

おもくとも
いっしのつみはよもあらじ
ろくはらどうへまいるみなれば

18

紫雲山頂法寺（通称：六角堂）
如意輪観音



わが思う

心のうちは六の角

ただ円かれと祈るなりけり

わがおもう

こころのうちはむつのかど

ただまろかれといのるなりけり

19

靈麿山行願寺（通称：革堂）
千手観音



花を見て

いまは望みも 革堂の

庭の千草も 盛りなるらん

はなをみて

いまはのぞみも こうどうの

にわのちぐさも さかりなるらん

20

西山善峯寺
千手観音



野をもすぎ

山路に向かふ 雨の空

善峯よりも 晴るる夕立

のをもすぎ

やまじにむかふ あめのそら

よしみねよりも はるるゆうだち

番外



20番と21番の間にある
千手観音像。

三十三観音の中には
含まれないようにで
詳細不明です。

参道の右側に安置されています。

21

菩提山 穴太寺
聖観音



かかる世に
生まれあう身のあな憂やと
思わで頼め 十声一声

かかるよに
うまれあうみのあなうやと
おもわでたのめとこえひとこえ

22

補陀洛山 総持寺
千手観音



おしなべて
老いも若きも 総持寺の
ほとけの誓い 頼まぬはなし

おしなべて
おいもわかきも そうじじの
ほとけのちかいたのまぬはなし

応頂山 勝尾寺（通称：弥勒寺）
千手観音



重くとも

罪には法の 勝尾寺

ほとけを頼む 身こそやすけれ

おもくとも

つみにはのりの ちちおでら

ほとけをたのむ こそやすけれ

24

紫雲山 中山寺
十二面観音



野をもすぎ

里をもゆきて 中山の

寺へ参るは 後の世のため

のをもすぎ

さとをもゆきて なかやまの
てらへまいるは のちのよのため

25

御嶽山 清水寺
千手観音



あわれみや

普き門の品々に

なにをかなみのここに清水

あわれみや

あまねきかどのしなじなに

なにをかなみのここにきよみず

26

法華山一乗寺
聖観音



春は花

夏は橘 秋は菊

いつも妙なる 法の華山

はるははな
なつはたちばな あきはきく
いつもたへなる のりのはなやま

書寫山圓教寺（通称：西の比叡山）
如意輪観音



はるばるとのぼれば書写の

山おろし松のひびきも

御法なるらん

はるばるとのぼればしよしゃの
やまおろしまつのひびきも
みのりなるらん

28

世野山成相寺
聖観音



波の音

松のひびきも 成相の

風ふさわたす 天の橋立

なみのおと

まつのひびきも なりあひの

かぜふさわたす あまのはしだて

29

青葉山 松尾寺
馬頭観音



そのかみは
幾世経ぬらん 便りをば
千歳もここに 松の尾の寺

そのかみは
いくよへぬらん たよりをば
ちとせもここに まつのおのてら

30

巖金山 宝巖寺 (通称:竹生島宝巖寺)
千手観音



月も日も

波間に浮かぶ竹生島

船に宝を積むこちして

つきもひも

なみまにうかぶちくぶしま

ふねにたからをつむこちして

31

姨綺耶山 長命寺
聖観音



八千年や

柳に長さ 命寺

運ぶ歩みの かざしなるらん

やちとせや
やなぎにながきいのちでら
はごぶあゆみの かざしなるらん

織山 観音正寺（通称：仏法興隆寺）
千手観音



あなとうと

導きたまえ 観音寺

遠き国より 運ぶ歩みを

あなとうと
みちびきたまえ かんのおんじ
とおきくによりはこぶあゆみを

33

谷汲山華嚴寺
十二面観音



世を照らす

仏のしるしありければ

まだともしびも消えぬなりけり

よをてらす

ほとけのしるしありければ

まだともしびも消えぬなりけり

智者山神社中

乳観音
神社鳥居と本殿の石段の中ほどにある観音像



智者山神社本社



智者山神社 三十三観音巡り

発行／川根本町教育委員会

調査・撮影／鈴木正文・榎田善行(川根本町資料館やまびこ)

〒428-0411 静岡県榛原郡川根本町千頭1183番地の1
TEL.0547-58-7080

